

奥会津金山赤カボチャ®の品質改善 ～ボトムアップでやる気アップ～ 会津農林事務所 会津坂下農業普及所

1 背景・ねらい

○背景

- ・奥会津金山赤カボチャ®は、鮮やかなオレンジ色と出っ張った「へそ」、強い甘みが特徴の金山町の特産品である。
- ・奥会津金山赤カボチャ生産者協議会（以下、協議会）が独自に設けた品質基準をクリアしたものだけが、地域団体商標マーク入りの合格シールを貼付して出荷できるが、生産者間で検査合格率に差がある。

○ねらい

- ・ブランド力強化と出荷数量確保のため、奥会津金山赤カボチャ®の品質検査の合格率をアップさせる。個々人の合格率アップにより、生産者のやる気もアップさせる。



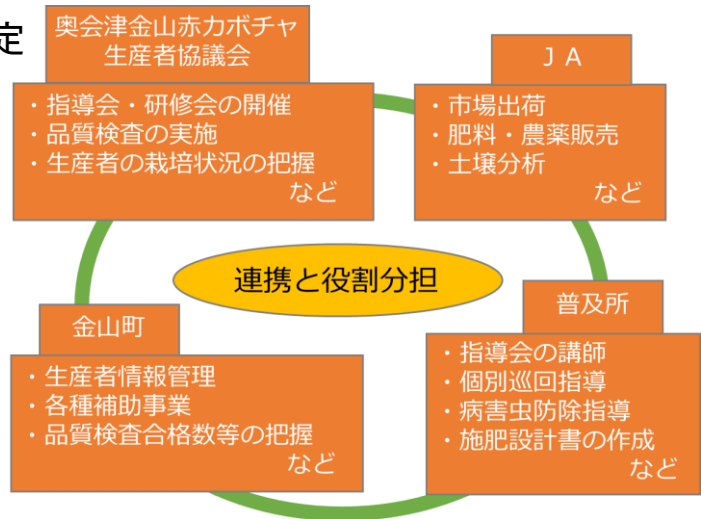
奥会津金山赤カボチャ®
と合格シール

2 活動内容

(1) 関係機関との連携と基本方針の決定

関係機関の役割を決め、活動を開始。普及所は特に品質向上に関わることで、**「病害虫防除」と「土づくり」の指導を徹底した。**

基本方針は、**「合格率の低い生産者（重点指導対象者）の品質検査合格率の向上（ボトムアップ）により、高位平準化すること」とした。**



(2) 合格率向上のための具体的な活動 (令和4年から)

【栽培指導】

- ①巡回指導会（町内9地区、主に低合格率の生産者が対象）
 - ②個別巡回指導
- ⇒指導会により**基本的な栽培管理と病害虫防除の徹底を**、個別巡回により**現場の課題の早期解決**を目指した。



巡回指導会

【土づくり】

- ①土づくりの指導会
 - ②土壌分析試料の採取方法の指導
 - ③土壌分析に基づく施肥設計指導
- ⇒有機資材を利用した土づくり指導と適正施肥の指導により、**栽培しやすい土壌環境づくり**を目指した。



土壌採取方法の指導

3 活動成果

(1) 品質検査合格数、合格率の向上

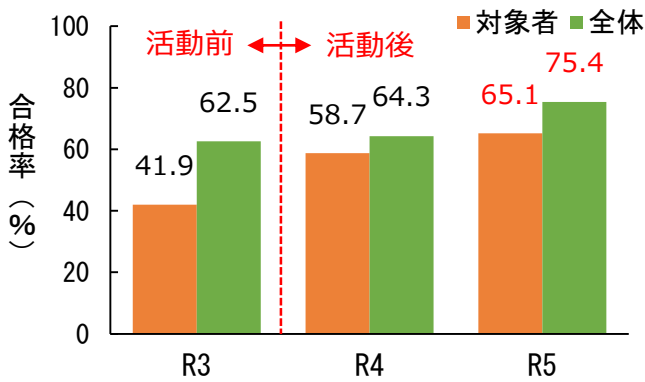


図1 R4から指導した重点指導対象者の平均合格率と全体合格率の推移の比較
※R3、R4は28人の、R5は23人の平均

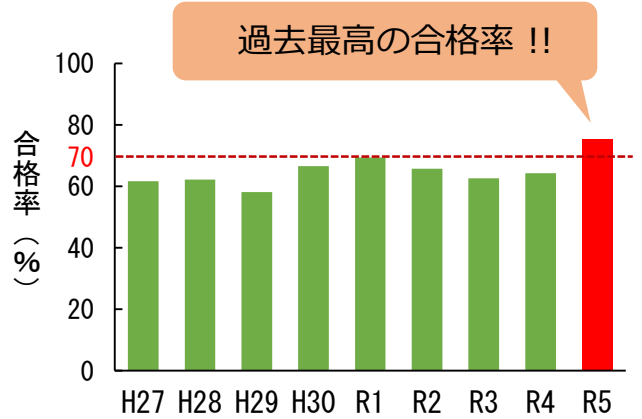


図2 全体合格率の推移

- ・巡回指導会等により基本の栽培管理、病害虫防除が徹底され、**重点指導対象者の合格率が活動直前の全体平均以上にアップ**。それにより、**全体の品質検査の成績もアップ**（図1）。
- ・令和5年には、猛暑・少雨で多くの露地作物が栽培しにくく、生産者数も減少しているなか、**検査開始後、過去最高の合格数（13,875個）、合格率（75.4%）**となった（図1、図2）。

(2) モチベーションの向上

関係機関や生産者からは下のような感想・意見が寄せられた。

協議会役員より

- ・取組により合格率が向上して良かった。
- ・これまでの指導会や研修会により、土づくりの重要性がわかった。役場とも協力し、**数年かけて土づくりを定着させていきたい。**
- ・**施肥設計書の作成を自分たちでも行えるようにしていきたい。**

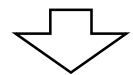
金山町役場より

- ・土づくりのため、令和6年度に向けて、全協議会員に対して土壌分析の補助を行い、高品質なカボチャの生産を後押ししていく。
- ・奥会津金山赤カボチャのさらなる**ブランド化のため、各機関の連携を強化して取り組んでいきたい。**

生産者より

- ・病害虫防除により、合格率が向上した。
- ・施肥設計の内容は、いつもより施肥量が少なく不安だったが、適正施肥により、病害の発生が少なくなり合格数が増加した。
- ・補助対象外でも自費で複数ほ場の土壌分析を行いたい。**今後**も**施肥設計書の作成をお願いしたい。**

活動により、品質検査合格数・合格率アップ



赤カボチャ生産のやる気アップ!!

4 今後の活動・方向性

(1) 土づくり指導の継続

⇒土づくりと土壌分析に基づく施肥指導を継続し、**栽培しやすく異常気象に負けない土壌環境づくりを推進**していく。

(2) 品質向上と生産者確保

⇒活動の継続により、品質の高位平準化を推進し、**各生産者の品質検査合格率の向上により、全体合格数を確保**する。また、関係機関と連携し、新規栽培者の確保や育成を行う。

(3) ブランド力の強化

⇒今後も関係機関と連携したブランド力強化の取組により、**地域と生産者を支援**していく。